別記様式6（第9項関係）　　令和　2　年度

1　自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4795500141		
法人名	医療法人ムサアザ会		
事業所名	グループホームいけむら		
所在地	宮古島市平良字西里340番地		
自己評価作成日	令和2年11月11日	評価結果市町村受理日	令和3年4月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/47/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=4795500141-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社　沖縄タイム・エージェント
所在地	沖縄県那覇市上之屋1-18-15　アイワテラス2階
訪問調査日	令和2年　12月　　4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

〇理念にもあるように、「みんなの笑顔は私の笑顔は、私の笑顔は私の笑顔はみんなの笑顔」とあるように、みんなが笑顔で過ごす事が出来るよう努力しています。
〇個々のペースで過ごせるよう、寄り添いながらゆっくりとした対応を心掛けています。
〇個々で、家庭的な雰囲気を持ち、掃除・洗濯など家事に積極的に参加していただき持っている力を活かして行けるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

入居者の健康面については、法人本部が医療機関であるため、かかりつけ医の立場で事業所と連携して支援にあたっており安心できる環境となっている。
災害備蓄品はこれまで法人本部に整備されていたが、その後事業所に移設したことからいつでも現場対応が出来るように改善され、入居者の安全面からも配慮が図られている。
市街地にある建物の環境から、交通事故に注意しながら職員は外出支援に当たっている。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに〇印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	〇	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）		1. 毎日ある
		〇	2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）	〇	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）	〇	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		〇	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	〇	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	〇	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに〇印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）	〇	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
		〇	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
		〇	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）		1. ほぼ全ての職員が
		〇	2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		〇	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	〇	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「みんなの笑顔は私の笑顔　私の笑顔はみんなの笑顔」を理念とし、日々、笑顔で過ごせるようケアに努めています。	管理者は職員の日々の行動から、問題点の指摘を都度行いながら必要な事項は「申し送り帳」に記入して情報共有を図り、月次ミーティングにおいても全員で理念の唱和を行い理念の共有に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでの行事などへ参加して頂き利用者が交流が持てるよう支援しています。	コロナ禍で地域との付き合いは難しい状況であるが、平時は散歩の際の近隣の方との挨拶やトライアスロンの応援、産業まつりへの参加等で地域との交流を支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症介護について研修を行っており、運営推進会議において、地域の住人に発信しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者や行政担当者は毎回参加しているが、地域住民や介護事業者の参加がまばらなので、より協力体制の構築を考えていきたい。	コロナ禍の中、書面開催となっている。平時における運営推進会議に地域住民の代表者や家族の参加者がみられない。 委員会の内容も、事業所から入居者数の現状報告が主であり、事業所が抱える問題提起や職員研修についての話し合いがみられない。	運営推進会議は事業所の運営について、多様な立場の人達から質問や意見、要望を聞く貴重な場であり、管理者は参加者メンバーに積極的な働きかけを行い、会議の充実を図られたい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で相談や助言を頂き、協力を得ています。又、徒歩で伺える為、意見交換を行い協力関係を築くよう取り組んでいます。	運営推進会議への参加時の機会や、議事録を持参の際に情報交換を心掛けている。 市役所が徒歩圏にあるため、面談相談も気軽に行える環境にある。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月行っている研修会において、身体拘束マニュアルを熟読し、活用して実践してケアにあたっています。又、転倒事故防止の為、センサー感知器で対応しています。	身体拘束適正化委員会は2か月に1回開催され、身体拘束に関する研修会は月々行っていて、身体拘束防止に関するマニュアルが整備されているが、身体拘束適正化委員会の名簿の整備が行われていないことから、議事録においても出席委員の確認が定かではない。	身体拘束をしないケアは身体拘束適正化委員会名簿の委員の出席のもと開催することが大事であることから、名簿の整備に努められたい。
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	認知症等病気の理解をし、研修などの受講により知識を習得し、利用者に寄り添ったケアに努めるようにしています。又、職員の話をよく聞き心のケアにも努めています。	事業所は年次の研修会において虐待防止の研修会を開催し、職員の情報共有を行っている。定期的に行われる認知症研修会においても虐待防止に関する研修テーマを取り入れ、より一層理解を深める取り組みを行っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修を行い、制度について学ぶ機会を持ち、職員の知識向上に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者やご家族へホームでの生活において、誤解や不安感を抱かれないよう、契約時にはサービスの説明や利用料の説明などについて同意を求める様にしています。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やご家族のホームへの訪問時電話などにより、近況報告を行い、意見や要望等を伺うようにしています。	コロナ禍の中では困難な状況であるが、平時は訪問時での声掛けや、訪問が滞っている家族には、電話で近況報告を行って意見の吸い上げを行って運営に反映している。	コロナ禍で家族との交流が制限されているが、この機会に家族向けアンケートを実施するなど、事業所側から積極的に家族からの意見を吸い上げる工夫を期待する。

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングにおいて、意見や提案を聞き、反映させています。	管理者は、職員の問題点への指摘や、意見、要望についての吸い上げを都度行いながら、職員が共有すべき事案については月次ミーティングに取り上げ、職員全体の意見を反映する取り組みを行っている。	
12	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格所得に関する給与体制等の考慮がされており、職員自身が働きやすい職場環境作りに努めています。	年に2回の定期検診は母体の医療法人が行っている。外部研修は日勤扱いとし、職員の年休や体調不良時、又急用などにも対応し、向上心を持って働きやすい職場環境に努めている。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月1回の職場研修を行い、外部研修にも積極的に参加が出来るよう勤務など配慮をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会を通して交流機会を作っており、運営推進会議においても、他介護事業所との交流があります。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人の自宅など慣れた環境で話を伺い、健康状態、生活歴、要望を聞き、本人が安心して生活できるよう心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込み時には面談をし入居後もご家族の要望を聞き、どのようなケアが良いのか話し合いながら行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族の相談内容や心身状態を把握した上で必要とする支援を考え、サービス提供等の情報提供を行っています。本人やご家族の自己決定により支援を実施しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	笑顔で接し、寄り添う気持ちを持ちながら、ゆっくりと生活が送れるよう、励まし合える生活を心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話などでご家族と本人の思い現在の状況を共有し、ご家族と一緒に協力して本人を支え合う支援を行っています。		
20	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人などが気軽に訪ねてこれる雰囲気作りを心掛けています。又、外出やドライブで住み慣れた地域に行き、交流が出来るように支援しています。	コロナ禍の現状では難しい状況であるが、事業所は感染防止に注意をはらいながら、住み慣れた地域へのドライブを行うなど、馴染みの場所や人との交流を継続している。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し席の配置を工夫しながら、利用者同士で支え合えるよう配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても本人やご家族の関係性を大切にし、遊びに来てもらったり、行事に招待したりして相談や支援が出来るよう努めています。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活をする中で、本人の希望や思い、これまでの暮らし方や趣味等の情報をもとに把握し、本人が自己決定できるよう努めています。	職員は入居者の様子を見守りながら、共有すべき必要な情報は申し送り帳や介護記録に取り上げて、個々の思いや意向の把握に努めている。	入居者に関する介護記録や申し送り帳の情報は、職員の気づきや入居者の意向の把握に重要な情報であることから、これらの情報が介護計画につなげられる仕組み作りを検討することを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族等から、本人の生活歴や生活環境、思いなどを把握するよう情報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の今までの生活リズムを大切にし、現在の生活を記録して、食事、睡眠、排泄等を把握し、生活のリズムを職員間で確認できるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族、主治医の意見を取り入れ、毎日の申し送りや職員ミーティング等により、課題やケアの在り方について話し合い、現在の本人に適した介護計画を作成しています。	事業所は、3か月に1回のモニタリングを行い、介護計画の検討を行っている。介護計画作成について担当者会議に入居者個々の目標達成のための家族の関与が実施計画では定かではない。	介護計画は、入居者本人の自立支援について最重要なものであるので、家族の参加や実施計画の記録について整備を行う取り組みに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活状況や健康状態を個別に記録し申し送りで共有し、介護計画も定期的に確認し、変化があればモニタリングを行い、状況に適した計画の変更を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族のニーズに対しては、安心安全に暮らして頂けるよう、ご家族職員等と話し合い調整し柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には参加するようにしています。地域住民の方にも運営推進会議に参加して頂いています。		
30	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に定期的及び必要時に受診をしています。 又、医師への連絡を密にし、医療面での相談が出来ています。	法人本部の医療機関との連携により、入居者は常に健康に関する医学的な支援を受けられる体制にあり、主治医は定期的に往診を行い、健康管理に関する情報は、常に職員や家族に報告がされている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に看護師の訪問もあり体調不良時の相談や助言ができ、安心して支援が出来る。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中もmまめに面会を行うようにしています。入院時は医療機関へ情報を提供し、面会時に後の状況を聞き退院後の受け入れがスムーズに行えるようにしています。		
33	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態の変化に応じて説明し、終末ケアについて話し合い看取りについて確認しています。又、介護サービス計画更新時に家族に意向を再確認し、看取りについて伺います。	事業所は入居時に本人及び家族に、重度化や終末期での対応について説明を行い、終末期には法人本部のかかりつけ医と職員が連携を更に密にして支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月行っている内部研修にて、急変事や事故発生時の対応についてマニュアルの確認を行い、今後起こりうる事態について話し合いを行っています。		
35	(15)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防火誘導訓練を実施し、防火災害マニュアルを作成し対応法の周知を図っています。又、周知事業者へ協力を呼びかけ一緒に訓練を実施しています。	災害備蓄品は、法人本部から事業所に移動し必要な場合は直ぐに対応できるよう改善がされている。災害備蓄品は食料等3か月分を確保し、防火訓練も年2回行われている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(16)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇やプライバシーの研修を行い、入居者の尊厳を尊重し、対応や言葉使い等を改善するように心掛けています。	入居者の尊厳とプライバシーに関する職員への教育は入社時に行われ、問題が散見された場合、管理者は都度注意を行い、情報共有すべき点が出た時は、申し送り帳や月次ミーティングにおいて取り上げ、職員の理解を求めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活をする中で、本人の希望や思いを聞き話しかけ、表情に注意し、本当の気持ちを探るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム側の都合を押し付けがちになっている部分もあるが、本人が今日は何がしたい今何がしたい等の希望がある時は、叶えられるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人に着たい衣服を選んで頂き、楽しくおしゃれが出来るように支援しています。又、起床時ブラシを渡し、自分で髪をとかしてもらえるよう支援しています。		
40	(17)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	手伝いの可能な方には、出来る範囲で無理強いする事無く、楽しく食事が摂れるよう支援しています。	献立は法人本部の管理栄養士により作成され、食事は職員の手作りで調理され、一口サイズで食べられるような刻み食や、やわらかめの食材など、入居者個々の状態に合わせた細かい配慮が行われている。下膳、配膳など入居者が手伝える事は職員と一緒に行っている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を毎食記録して、摂取量が少ない場合医師に報告し、適切に対応を行っています。水分量も個々の好みに合わせて楽しく確保できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	特に朝夕食後の口腔ケアは職員が声掛けし、見守りや介助を行い、うがいや歯磨きを行っています。義歯は毎日チェックして、義歯洗浄剤を使用しています。		
43	(18)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表や状況を確認し、プライバシーに配慮し、失敗しないようにトイレ誘導や声掛けを利用者に合わせた時間に行っています。又、日中と夜間で対応を変えケアをしています。	日中は入居者のほとんどがリハビリパンツを使用しており、排泄シートを参考に先回りケアに努めている。夜間はベットサイドのポータブルトイレを利用する者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表や状況を確認し、個々の排便周期を考慮し、自然排便が出来るよう、牛乳や食事の工夫を行っています。		
45	(19)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1週間に3回とある程度の設定はあるが、気持ちよく入って頂くよう必ず本人の意向を確認して入浴を行っています。又、入浴拒否のある方も本人のタイミングや声掛け促しを行い入浴できるようにしている。	入浴は、居室内のシャワー浴で行われていて、入居者の希望に応じて入浴の回数や時間に対応している。居室でのシャワー浴が困難な方には大浴場でストレッチャーによる入浴介助を行っている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の良い睡眠が出来るよう、日中は離床し体操や趣味活動を行っています。又、本人の希望や状態により自由に昼寝も行っています。		
47	(20)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類や効果を全職員が理解できるよう個人ファイルに綴り、いつでも確認が出来るようにしています。又、本人の状態の変化にも気を配っています。	薬は法人本部の医療機関から入居者個々に分包されたものが届けられ、事業所の夜勤職員が再点検したうえで安全な服薬管理が行われている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の気分に応じ、新聞折り、手作業や外出、ドライブ等、希望を取り入れながら気分転換を図っています。		
49	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に散歩やドライブに出かける事もあります。又、初もうでや新聞等に掲載されている地域のイベントには出来る限り参加するようにしています。	コロナ禍の中では困難な状況ではあるが、幹線道路に面した事業所の環境に配慮し、交通事故に対して十分な注意をはらい、車でのドライブや散歩などの支援が行われている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物時の会計をお願いする事もあります。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望する時には、家族等に電話をし話をして頂いています。又、年賀状等は代読をし本人に伝えています。		
52	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には大きな窓があり、その日の天気が分かり、明るい日の光が差し込み、温かく心地よい空間にし、季節を感じる事が出来ます。季節に合った装飾をしています。	リビングは十分な自然採光が取り入れられており、TVは決められた時間以外使用せず、BGMを流すことで落ち着いた雰囲気になるように心掛けている。 厨房には季節感のある切り絵を飾るなど居心地のいい環境づくりを心掛けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルとソファーがあり気分に合わせ過ごせるよう工夫し、仲の良い方々を同じテーブルにする等楽しい時間を過ごせるよう配慮しています。一人で過ごしたい場合は、廊下の椅子や部屋へ戻られてます。		
54	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるよう、自宅で使用していたもの等を配慮して頂いてます。本人やご家族と相談しながら、写真を飾ったりしています。	ベットは事業所の備え付けのものを利用する方がほとんどであり、その他にこれまで馴染みのある家具が持ち込まれていて、生活の継続ができるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業者全体がバリアフリーになっており、手すりが設置されています。本人の部屋やトイレが分かるよう大きく名前や写真を掲示したりして分かりやすくしています。		

（別紙4（2））

事業所名：グループホームいけむら

作成日：　令和　3 年　　1月　　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	入居者や行政担当者は毎回参加しているが、地域住民や介護事業者の参加がまばらなので、より協力体制の構築を考えていきたい。	参加者メンバーに積極的な働きかけを行う。		ヶ月
2	6	身体拘束適正化委員会の名簿の整備が行われていない。	議事録の名簿の整備をする。	参加者の名簿に枠を作成し記入する。	ヶ月
3	10	ご家族様からの意見の傾聴が少ない。	コロナ禍の中で困難な状況であるがご家族様の意見の傾聴や近況報告をするように心掛ける。	事業所の方からご家族様へアンケートを郵送し 意見などを聞き出す工夫をする。	ヶ月
4	23	入居者に関する介護記録や申し送り帳の情報を介護記録につなげる。	介護記録や申し送り帳の情報を出来るだけ細かく記入し介護記録につなげたい。	介護記録や申し送り帳をこまめにチェックする。	ヶ月
5	26	介護計画作成について担当者会議に入居者個々の目標達成のための家族の関与が実施計画では定かではない。	コロナ禍の中で厳しいとは思うが家族の参加や実施計画の記録について整備したい。		ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。